

## 院内トリアージについて

院内トリアージを実施するに当たり、当院では以下のような実施基準を定めております。

- 完全予約制として、問診票は事前にWEB上で回答いただきます。
- 紙問診票を利用する際は院外での記入をお願いしております。
- 問診票により新型コロナウイルス感染症の可能性の有無を確認いたします。
- 新型コロナウイルスの可能性が高いと判断された場合、当院発熱外来での受診調整  
(時間的分離として予約時間の指定と、空間的には当院入口前の限定された場所にて診察)を行います。
- 診察時には感染予防策として、サージカルマスク、フェイスシールド、防護服、手袋を装着して診察を行います。
- 新型コロナウイルス感染症の可能性が低く、診察・処置が必要な場合、できるだけ一般患者との動線が重ならないように注意して医院の正面入り口前にて処置を行います。
- 診察前後は、断続的に医院の正面入口付近と待合室、診察室の換気と消毒を行います。
- 緊急度の判定は以下図1のJTASレベルを参考に行います。

蘇生 (Blue)	直ちに診療・治療が必要	心停止 重症外傷 痙攣持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急 (Red)	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛、腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為 など	15分毎の再評価
準緊急 (Yellow)	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 痙攣後の状態(意識は回復) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛、腹痛 活動期分娩 など	30分毎の再評価
低緊急 (Green)	1時間以内に治療が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷(止血済み) 不穏状態 など	1時間毎の再評価
非緊急 (White)	2時間以内に診察	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷 処方、検査希望 など	2時間毎の再評価

図1JTASの緊急度判定 (JTASレベル) :

緊急度判定支援システム「JTAS (Japan Triage and Acuity Scale)」